

兵庫県建築構造技術研究会会員各位

詳細有限要素解析の建築構造設計への活用に関するワーキンググループ (略称：詳細有限要素解析 WG)

設立趣意書

1. 背景と目的

近年の計算機と計算力学の発展により、対象構造物の 3 次元形状を忠実に再現したモデルを用いた有限要素解析（詳細有限要素解析）が研究されている。実大建築構造物の解析事例もいくつか報告されており、将来的に従来の梁要素を用いた解析に代わる解析手法として期待されている。この WG では、最新の解析技術の将来への展望を見据え、詳細有限要素解析の技術動向や建築構造設計への活用に向けた情報収集と意見交換、課題の抽出を通じて、技術的、工学的知見を蓄積することを目的とする。

2. 活動内容

本 WG では、詳細有限要素解析の建築構造設計への活用に向けた課題の抽出と、技術的、工学的知見を蓄積に向けて、以下を実施する。

1. 詳細有限要素解析についての動向、解析結果の紹介と議論
2. 詳細有限要素解析の建築構造設計へのニーズ、事例紹介と議論
3. その他、詳細有限要素解析の活用に関する事項

3. 部会活動

- ① 活動期間：2～3年
- ② 開催日：2ヶ月に1回（計6回/年）：奇数月の第2水曜日（正確には第2火曜日の翌日）、13:15-14:50
- ③ 初回 WG：令和2年5月
- ④ WG 部会長、書記、会計等は初回 WG にて決定

以上、本 WG に関心のある方は、氏名、勤務先、メールアドレス、電話番号を明記の上、以下の連絡先までメールでお申し込み下さい。（締切：令和2年3月31日）

連絡先：会長 永野康行（E-Mail: nagano@sim.u-hyogo.ac.jp）

令和2年1月

詳細有限要素解析 WG 世話役
防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門 藤原 淳